

令和 7 年 10 月 10 日

東員町議会      議会運営委員会      委員長 山崎 まゆみ 様

東員町議会議長      南部 豊

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 9 月 29 日～  30 日（月・火）
研修（視察）先	長野県 宮田村 長野県 伊那市
目的（テーマ等）	1. 議会改革の取り組みについて
参加議員名 （複数の場合）	議会運営委員会（7 名 議長を含む）
資料添付の有無	有 ・ ③無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

長野県 宮田村議会 川手議長 小林副議長 松田議員 事務局員  
宮田村において、実施されている議会改革の取り組みについて研修を受けました。

事前質問で

- ・「宮田村議会むらびと会議」の詳しい概要、メンバー選出方法  
三者でやっていく。(行政・議会・住民)  
(一般委員 9 人、高校生委員 8 人) 議員の出席、開催頻度、住民の反応についてでは。

現在は、17 名で構成せれており、メンバー選出は、広報に募集紙を入れ、公募しますがなかなか難しい状況で、住民部会において、参加者を選出します。  
高校生委員の選定については、高校にパンフレットを持参して、議長が申し入れる。

- ・「宮田村議会むらびと会議」からの提言などで、議会の取り組みの見直しや、新たな議会の取り組みとして、取り入れたことはありますか、では。  
要項を策定し、
  - ① 議会の評価と提言
  - ② 議会だよりについての評価
  - ③ 議会に対しての取り組みの評価
  - ④ 議会の住民参加の必要性
  - ⑤ その他として実施しているが、「議会評価について」の説明と委員による評価は難しく不評とのこと。

- ・「機能強化特別委員会」とは、どのような機関ですか。  
特別委員会は、議会の機能強化を図ることを目的として、事件の調査を行う。
  - 1. 議会の法令に関すること。
  - 2. 議会の住民参加に関すること。
  - 3. 議会のデジタル化に関すること。
  - 4. 議会施設に関すること。について、5 人の委員で調査します。

- ・中学 3 年生の総合的な学習の時間で「議会講演会-子ども議会の提案に向けて-」とはどのようなことを実施されたのか。  
中学 3 年生 108 名が役場を訪れ、代表生徒 9 人が議員となり、  
「高齢者福祉について  
環境対策について  
地元食材を使った特産品づくりについての提言や質問をし、村長が答弁をした。

## 《研修概要、内容》

2 日目は、長野県 伊那市議会におきまして、同じく議会改革の取り組みについての研修を行いました。

伊那市さんにおきましても、「議会改革の取組について」をテーマに、田畑正敏議長から説明を受けました。

- ・「議会改革特別委員会」の設置目的や経緯、委員会の人選について。  
議会または議員に関することについて協議または調整を行うため、議長が必要に応じて招集する協議機関で、正副議長と各交渉団体の代表で組織されます。
- ・学生による議会膨張など、学生を呼ぶためにはどのような働きかけをしていますか。（出前講座的に訪問型をふくめて）  
今回の研修では、この学生に向けた取り組み「主権者教育について」がメインになった内容であったと思います。  
伊那市には 4 つの高校（公立 3、私立 1、統合高 1 予定）があり、伊那市議会との取組として、若い世代の政治参加意識を高めることを目的とした「意見交換会」が中心として開催されています。

政治や地域への関心を高め、全員に投票に行ってもらうこと。

将来議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

### \*意見交換の中で、生徒から出された意見

#### (1) この地域の良いところは

- ① 保険料が安い（国保税が安い）
- ② 移住者が多い。住みやすい街というイメージ
- ③ 商業施設と自然、観光が一つの町にあるため、住みやすい。
- ④ スポーツ施設が充実している。
- ⑤ 市内をバスが循環している。全域ではないが、バスの本数も多い。
- ⑥ 人と人のつながりが良い。生徒と先生との距離感が近く安心。

#### (2) 要望事項

- ① 冬の時期路面凍結が多く発生し、危険度が高まる。対応が必要。
- ② なぜ、伊那市役所を天竜川と三峰川の合流点近くに作ったか疑問。
- ③ 就職先の選択幅がない。IT 産業などの企業誘致が必要。
- ④ スタバやマックが学校や駅から遠く近くに欲しい。 などなど  
（この意見交換は、令和 6 年 3 月 18 日 水 に開催された内容の抜粋）

所感 住民との意見交換もさることながら、主権者教育として高校生に重点を置き、実施されていることについては、参考にすべきと考えさせられた研修でした。 当町には高校がない→中学校に置き換えた考え方